

石川町

議会だより

No. 208

令和3年 5月1日

発行／石川町議会
編集／石川町議会
広報常任委員会



▲最後の沢田小学校入学式

2021

3月定例会

P2 3月定例会 審議結果

P5 紙上中継(委員会)

P6 3月定例会 一般質問
(町政をたず)

P14 あれからどうなった?
(一般質問のその後は)

P15 議会活動(議会基本条例特別委員会)

予算決まる

総額105億6,870万円

「共に創る 幸せ実現のまち」

保健・福祉・医療

健康で元気に暮らせるまち
事業費／59億893万円

- 地域福祉の推進 ●児童福祉の充実
 - 保健・医療の充実 ●障がい者福祉の充実
 - 高齢者福祉の充実 ●人権尊重・権利擁護の推進
 - 保険制度
- [60事業]

産業・観光

活力ある産業を形成するまち
事業費／6億6,117万円

- 農林業の振興
 - 商工業の振興
 - 雇用の創出
 - 観光の振興
- [38事業]

教育・文化・スポーツ

豊かな心・町民文化を育むまち
事業費／6億6,184万円

- 生涯学習の充実 ●社会教育の充実
 - 学校教育の充実 ●文化の振興と
 - 鉱物の保存・活用 歴史資源の継承
 - スポーツの振興
- [55事業]

防災・生活環境

安全で住みよいまち
事業費／6億5,656万円

- 消防・防災対策の充実
 - 交通安全・防犯対策の充実
 - 資源循環の推進
 - 放射能対策の推進
- [18事業]

生活基盤

都市機能が充実したまち
事業費／7億9,360万円

- 土地利用の推進 ●生活道路の充実
 - 河川環境整備の推進 ●住環境の整備
 - 上水道の整備 ●公共交通網の整備
- [24事業]

地域自治・行政運営

共に創るまち
事業費／2億8,317万円

- 協働による地域づくりの推進
 - 効率的な行政運営 ●広域行政・地方分権
 - 情報化の推進 ●町民参加
 - まちなか再生の推進
- [21事業]

●その他の事業 事業費／16億343万円 [47事業]

令和3年3月定例会は、3月4日から3月16日までの13日間の会期で開かれ、条例案件14件、補正予算4件、当初予算9件、指定管理者の指定2件、契約の締結2件、人事案件1件、請願1件、議員発議等2件の合計35件を審議しました。
一般質問には、8人の議員が登壇し、町政を問いました。また、31人の傍聴がありました。



2月1日付けで35万78万6000円を増額する専決処分を行いました。歳出の主なものは、新型コロナウイルスの整備に必要な経費に2466万6000円、ワクチン接種に係る経費に227万7000円、新型コロナウイルス感染症拡大により深刻な影響を受ける町内事業者に向けた事業継続や雇用維持のための支援として4015万円となっております。

■専決処分の承認（一般会計補正予算第8号）の主なもの

ワクチン接種
経費計上

一般会計・特別会計

温泉利用割引事業 経費計上

■一般会計補正予算第 9号の主なもの

今回の補正は、大部分が事業の確定に伴う事業費の減額となり、増額の予算補正については、2月13日に発生した福島県沖地震の影響による道路や公共施設の修繕などの緊急性が高い経費のほか、新型コロナウイルススワクチン接種体制整備経費に1496万円、新型コロナウイルススワクチン接種経費に5788万2000円、町内観光事業者の支援として実施する温泉利用割引事業経費に843万8000円など、歳入歳出それぞれ8660万3000円を減額し、既定予算と合わせて、歳入歳出予算の総額を104億6947万2000円とするものです。

賛否の討論

●議案第32号

不動産の取得について

【反対】 民俗資料館を今造る場合ではないと思います。雨漏りがする物件であり、生涯学習課に少しスペースがあるので、そちらに移転を考えていただきますことからは反対します。
(藤島一浩)

【反対】 町が誇れる鉱物や歴史資料の展示、収蔵、保存、研究、学習する施設は、関係者や専門家を交え綿密な計画が必要であります。が、あまりに唐突で計画性がなく、事業費について、肝心な展示部分の予算が計上されていないなど、今後どれほど事業費が膨らんでいくのか心配です。また、当該物件の取得までの経緯が不透明であり、町民の理解も

得られないことから反対します。(瀬谷京子)

【賛成】 歴史民俗資料館は、町の歴史を広く内外に広める大切な施設です。現状を見たときに、とてもお客様をお呼びできるような環境ではございません。旧ホテル松多屋は町中心街への入口であり、町を紹介するきっかけとなる最適な場所だと思えます。

現在の歴史民俗資料館は、手狭であり、収蔵場所もなく、そんな中で教育施設の一環としての役割が果たせるか疑問であることから旧ホテル松多屋の土地購入について賛成します。
(根本重泰)

【賛成】 昭和47年に開館し、すでに50年近くなり、町を訪れる観光客に自信を持って、見せていただける施設ではないと思えます。内外

に向かつてアピールできる施設を、少し時間がかかってでも着実に行っていただきたいと思えます。
見学に来る方々が気持ちよく見学ができ、将来を担う子供たちがしっかりと町の歴史を学んでいけるような施設にしていただきたいことから賛成します。
(瀬谷寿一)

反対	賛成
藤島 一浩 瀬谷 京子	乾 初美 菊池美知男 根本 重泰 瀬谷 寿一 小木 芳郎 増子美知夫 下山田和雄 渡辺 実 関根 信次 矢内 義将 近内 雅洋

議案・請願・発議 審議結果

議案番号	議案	審議結果	
議案 第1号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度石川町一般会計補正予算－第8号）	原案承認	全 員
議案 第2号	石川町公共施設保全基金条例の制定について	原案可決	全 員
議案 第3号	石川町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第4号	石川町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第5号	石川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第6号	石川町文教福祉複合施設条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第7号	石川町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第8号	石川町国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第9号	石川町介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第10号	石川町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第11号	石川町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第12号	石川町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第13号	石川町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第14号	石川町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第15号	石川町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全 員
議案 第16号	令和2年度石川町一般会計補正予算（第9号）	原案可決	全 員
議案 第17号	令和2年度石川町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決	全 員
議案 第18号	令和2年度石川町宅地造成事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全 員
議案 第19号	令和3年度石川町一般会計予算	原案可決	全 員
議案 第20号	令和3年度石川町国民健康保険特別会計予算	原案可決	全 員
議案 第21号	令和3年度石川町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	全 員
議案 第22号	令和3年度石川町介護保険特別会計予算	原案可決	全 員
議案 第23号	令和3年度石川町母畑財産区特別会計予算	原案可決	全 員
議案 第24号	令和3年度石川町中谷財産区特別会計予算	原案可決	全 員
議案 第25号	令和3年度石川町土地開発事業特別会計予算	原案可決	全 員
議案 第26号	令和3年度石川町宅地造成事業特別会計予算	原案可決	全 員
議案 第27号	令和3年度石川町水道事業会計予算	原案可決	全 員
議案 第28号	石川町老人デイサービスセンター長生園に係る指定管理者の指定について	原案可決	全 員
議案 第29号	石川町共同福祉施設に係る指定管理者の指定について	原案可決	全 員
議案 第30号	石川町防災情報配信システム整備工事請負変更契約の締結について	原案可決	全 員
議案 第31号	山沢橋橋梁修繕工事請負変更契約の締結について	原案可決	全 員
議案 第32号	不動産の取得について	原案可決	賛成多数
議案 第33号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適 任	全 員

議案番号	請 願 ・ 発 議	審議結果	
請願 第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出請願書	採 択	全 員
発議 第1号	石川町議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決	全 員
発議 第2号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	原案可決	全 員

任期満了に伴い、人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて、中島世一氏（大字沢井）、小松広江氏（字境ノ内）の推薦を適任としました。

人権擁護委員候補者の推薦

公共施設の維持、補修費用について、財政負担の年度平準化による健全な財政運営と公共施設の適正状態での管理に必要な財源を確保するため、基金を設置するものです。

石川町公共施設保全基金条例の制定について

紙 上 中 継 委員会審査



予算審査特別委員会

誘致活動や立地企業の育成強化に努めます。

Q 町内立地企業の操業について。

A 沢井字藤沢地内（藤沢工業用地）で航空宇宙産業や自動車関連産業等の精密金属機械部品加工を行う株式会社エヌ・ティー・エス様、並びに中野字吹上地内（三井金属アクト株式会社跡地）で産業用送風機や小水力発電設備の製造を行う朝日機工株式会社様が本年2月1日に操業を開始されました。両社の新規操業により、新たな雇用の創出に加え町内への移住・定住も図られていることを踏まえ、今後も誘

致活動や立地企業の育成強化に努め、地域経済に好循環を生む優良企業の育成に努めていきます。

Q 工場等設置事業者に対する町の支援策について。

A 工業の振興と雇用機会の拡大を図るため、町内に工場等を新設又は増設等する事業者からの申請により、操業開始年度の翌年度から5年間、企業立地奨励金を交付しています。奨励金の額は、各年度の固定資産税納付額の全額となります。

高齢者保健事業の充実

Q フレイル予防とは。

A フレイルとは簡単に言えば「加齢により心身が衰えた状態」のことで、具体的には、体重が減る、歩くのが遅くなる、疲れやすい、全体的な身体活動量の低下などで

のサロン等に保健師・栄養士・歯科衛生士・理学療法士等の専門職を派遣して、多面的にフレイルの予防・改善に取り組んでいきます。

高年齢者のフレイルは生活の質を落とすだけでなく、さまざまな病気や障がいを引き起こす危険性があり、要介護状態につながります。しかし、早く気づき、対策を行えば、元の健全な状態に戻る可能性があります。そこで、令和3年度から、各地区



Q まちなかに賑わいを取り戻すためには

A 交流人口と共創に着眼し進めています



菊池美知男 議員

◆ 中心市街地の振興策について

質問 まちなかの賑わいを取り戻す政策は。

答弁 住民、事業者や高校生などの、多くの皆様の参加を頂き協働による、まちなか賑わい創出のための事業展開を図っていききたいと



▲活性化策に期待

考えています。

◆ 新型コロナ感染症対策について

質問 予防接種の実施方法や不安の払拭、また体制は。

答弁 集団接種が出来るよう体制整備を進めており、チラシ配布やホームページに掲載しており、広報を行っており、引き続き情報提供に努めます。

質問 コロナ禍における生活困窮者への対応は。

答弁 町社会福祉協議会が、生活資金で困っている方に対し、貸付等を実施しています。町では、生活困窮者の相談に対して、常に丁寧な対応を心がけるとともに関係機関と連携し速やかな支援につながるよう体制の構築に努めていきます。

◆ 道の駅整備について

質問 整備に対する町民等の要望や意見の反映は。

答弁 石川町道の駅整備検討委員会を立ち上げ、基本構想及び基本計画の策定、検討などを行い、アンケート調査やパブリックコメントを実施しながら、町民の皆様からの意見を踏まえた道の駅整備を進めていききたいと考えています。

質問 誘客の具体的な方策は。

答弁 地域情報施設や地元の特産品を豊富にそろえた販売施設、地元食材にこだわった飲食施設などを整備し、地域資源をテーマとした各種イベント等を開催します。またサウンディング型市場調査により、さらに具体的な誘客方法を検討する考



▲夢と希望の持てる道の駅を

えです。

質問 町民への経済的効果や満足度の向上は。

答弁 道の駅整備により創出される新たな需要は、年間2億9千万円の経済波及効果が発生すると推計され、地域の活性化の拠点としての役割を果たす運営により、町民皆様に満足して頂ける施設にしていききたいと考えています。

Q 学校給食費の公会計化について考えは

A 今後、学校並びに関係機関と協議しながら検討していきます



乾 初美 議員

町と寺院等が
お互いのメリット
を生かせるような
墓地政策を！

◆学校給食費の 公会計化について

質問 公会計化の支障となつている課題への対応策は。

答弁 先進事例を参考にして取り組んでいきたいと思ひます。

要望 教職員の負担軽減や会計の透明性など行政全体での対応につなげて欲しい。

◆町営墓地に ついて

質問 本町の共同墓地の管理体制は。

答弁 61か所ある公営墓地のうち55か所は行政区長が残り6か所については土地の所有者が管理を行つています。

質問 無縁墓地は将来増加する。無縁化しない仕組みづくりは。

答弁 合葬墓や自然葬などの需要があるか調査しながら、今後検討していきます。

質問 「墓参り」や「墓掃除」などの、ふるさと納税を活用したお墓の見守りサービスについて考えは。

答弁 今後検討していきたいと思ひています。



▲クリスタルパーク付近に整備予定の公園墓地

質問 公園墓地の整備について考えは。

答弁 墓地の形態などを検討するため、購入希望者に対して再度ニーズ調査を実施します。

質問 寺院等との問題意識の共有は。

答弁 墓地における現状や課題は同じだと考

えていますので、今後行う調査の中で寺院等についても調査していきます。

要望 町営墓地の整備を検討していく際には、単にお骨の処理場という考えではなく、四季折々の花々の中で先祖と語らうことのできるような場所であり、アイデンティティーの拠り所となるような、雰囲気の良い場所であつて欲しい。

◆骨髄バンクについて

質問 骨髄バンクドナー登録の推進について。

答弁 平成31年度に骨髄移植ドナー助成事業補助金を創設し、提供者に対して補助金を交付しています。ドナー登録の機会の周知や情報提供など、今後も普及啓発に努めていきます。

Q 中山間地域総合整備事業について

A 課題解決に向けて関係機関と連携を図り、事業の推進を図ります



関根 信次 議員

◆ 新型コロナウイルスの感染症拡大防止対策と経済支援策について

【質問】 町の対応と対策は。

【答弁】 公共施設の利用時間の制限をするとともに、会議等を含む各種事業の延期や中止、実施に当たっては感染予防対策の徹底をお願いしてきたところです。

【質問】 個人に対する町の支援は。

【答弁】 教育分野では教材費・給食費の補助、予防接種料の無料化、福祉の分野では新生児特別定額給付金や妊産

婦タクシー券の助成、農業の分野では設備の導入補助や畜産農家への飼育補助、公共料金の分野では水道料金の支払猶予や軽減措置、町営住宅使用料の減免措置、町税の分野では国民健康保険税及び介護保険料の減免、事業用固定資産税や軽自動車税の軽減、町民税の徴収猶予などを実施してきました。

【質問】 事業者に対する町の支援は。

【答弁】 町独自の支援策としてデリバリー・テイクアウトを支援する「飲食店等応援事業」、店舗の維持と事業継続を支援する「店舗等維持費助成事業」、営業継続のための衛生用品等の購入費用を支援する「新しい生活に対応した事業継続補助事業」、事業継続に取り組む事業者に対する

「ウイズコロナ時代を勝ち抜く事業づくりサポート補助事業」等を実施してきました。

◆ 中山間地域総合整備事業の活用について

【質問】 事業採択の主な要件は。

【答弁】 農林統計上の中山間地域及び条件不利地域が対象であり、10ヘクタール以上の受益面積であることなどが要件となります。



▲農道整備が待たれる上母畑地区

【質問】 今後の取り組みについて。

【答弁】 町が地区の協議の場に積極的に参加するなど、情報交換や現状の把握に努めるとともに、事業要件や費用負担などの課題解決に向けて関係機関と連携を図り、事業の円滑な推進を図っていききたいと考えています。

◆ イノシシ被害対策について

【質問】 被害対策をどのように進めているのか。

【答弁】 町鳥獣被害対策実施隊による捕獲用わなの設置や、巻き狩り猟の実施に加え、被害軽減に効果的な電気柵の導入に対する助成事業を行っている。

今年度のイノシシの捕獲頭数は2月末現在で120頭です。

Q 令和3年度最優先の事業は

A 新型コロナウイルスワクチン接種と防災対策を進めます



根本 重泰 議員

情報を正しく
町民に伝えること
が大切だと思う

◆ 令和3年度事業について

質問 令和3年度事業の優先順位は。

答弁 大きくは ①命と健康を守るワクチンの接種 ②安心安全の防災体制づくり ③子ども・子育ての環境づくりの「認定こども園」 ④地域振興策の「道の駅」 ⑤令和3年から9年まで7年間にわたる「母畑浄水場の改修」を考えています。

◆ 住宅ストックについて

質問 町営住宅の現状は。

答弁 町営住宅の総数は256戸で、耐用年数を超過し、空室となり次第解体を予定している木造住宅は133戸と、約半数が老朽住宅となっています。



町の未来に
思いを馳せる

質問 今後の対応は。
答弁 令和3年度に、次期長寿命計画となる町営住宅個別施設計画

の策定を予定していません。目標管理戸数を定めた上、検討していきたいと考えています。

質問 国の「住宅セーフティネット」制度の活用は。

答弁 住宅確保要配慮者（高齢者・障がい者・子育て世帯）に、空き家を含む民間住宅を供給する新たな制度です。令和2年度、本町が県内初のモデルケースとして取り組みました。空き家・民間住宅・公

営住宅を連携させながら、より強固な住宅セーフティネット制度に取り組んでいきたいと考えています。

要望 町営住宅の財政負担は大きい。長いスパンで民間賃貸住宅の活用を検討してほしい。

◆ 雇用促進住宅跡地について

質問 今後の利活用計画は。

答弁 売買契約書において ①取得後10年間は若者・子育て世帯向けの公的賃貸住宅として運営していくこと ②期間満了までの間は転売しないことが約定されています。民間活力を積極的に導入し、財政負担を最小に抑えた事業展開を目指す方向性で、協議検討を進めてきましたが、決定には至っていません。

Q 50年の歴史を持つ資料館を博物館相当施設へ

A 資料館整備検討委員会の中で検討します



瀬谷 寿一 議員

◆高校支援

質問 令和4年に県立石川高校は創立100年、学法石川高校は130年を迎える。県石高の存続支援は。

答弁 私と教育長、同窓会長の3人で石川管内の中学校を全校訪問し、志願をお願いしてきたところです。

質問 令和2年の石川郡の出生数は166人で大変厳しい。県石高の存続には、魅力ある学科と全県からの募集が必要ではないか。

答弁 特色・特徴のある、どこにもないもの

が必要です。財政の許す限りいろいろな面で支援していきます。

要望 石川郡5町村長そろっての力強い後押しをお願いしたい。

◆鉱物館と資料館整備

質問 鉱物館構想はどうなるのか。

答弁 昨年3月に「石川町鉱物館整備基本構想」を策定しましたが、財政的事情から資料館移転整備を先に進めたいと考えています。

質問 資料館に鉱物専門の学芸員の配置を。

答弁 専門的な鉱物に關した学芸員の配置を検討します。

◆水害とまちなか再生

質問 今回の浸水想定区域は、北須川・今出川流域に2日間総雨量

440ミリを想定している。その対応は。

答弁 台風第19号で発生した浸水エリアより広いエリアで地域防災計画の見直しを行っています。

要望 まちなか再生の見直しと併せて都市計画や土地利用計画の見直しも必要だ。

また、まちなか再生に深谷かおる氏が70年代の石川町を描いた漫画「エデンの東北」を活かしてほしい。

◆課題解決型道の駅

質問 町の課題に果敢

に挑戦する道の駅を。

答弁 全国の道の駅の成功例は、地域が抱える課題解決を果たしたものが多く。本町においてもそのような道の駅を考えています。

質問 町長は一度立ち止まってと言っているが、今後のスケジュールは。

答弁 令和3年度基本計画、その後実施設計、6年4月オープンを予定していましたが、若干遅れる見込みです。

要望 町民に「道の駅」の進行状況がわかる情報を発信してもらいたい。また、町民に支持され、リーダーで繁盛する道の駅を目指してほしい。



▲「エデンの東北」には、きらきら輝いていた70年代の石川町が生き生きと描かれています。

Q 道の駅は町活性化の起爆剤になり得るのか

A 交流人口を誘導する拠点として 起爆剤となる道の駅を目指します



瀬谷 京子 議員

◆道の駅整備について

質問 道の駅整備計画、新たな検討手法とは。

答弁 民間事業者から対話によるアイデアや意見を求め、事業に反映させるサウンディング型市場調査の実施を予定しています。

質問 公募のエリアは。

答弁 全国規模で公募します。

近年多くの自治体で公民連携の手法として用いられています。

質問 どういう道の駅を造りたいのか。

答弁 物品販売や食の

提供だけでなく、本町の魅力をPRし、特産品を開発して販売し、地域外の人にも魅力を発信する道の駅です。

質問 すでに後発、町民も不安視しているが、

答弁 莫大なお金を使うので失敗は許されません。指定管理者制度、

民間委託、第三セクターなど、今回の市場調査により、先行事例の情報収集に努めます。後発ならではのメリツトもあると捉えます。

急がず町民の皆さんの合意を得て対応します。

◆歴史民俗資料館の移転について

質問 民間事業所跡へ

鉾物館設置が急浮上し、その後資料館に転換した経緯は。

答弁 鉾物館として旧ホテル松多屋を劣化調査したが、改修工事の

見積もりが20億円とされ、財政面から断念しました。一方、資料館は老朽化により早急な対応が必要であり移転先として最適と判断しました。改修費を1億5千万円程度（展示経費を除く）と見積もっています。

質問 内容は。

答弁 鉾物を中心に、古民具、遺跡の出土品、それに自由民権資料等を展示します。



▲現在の歴史民俗資料館

質問 専門家を交えた鉾物館整備検討委員会による「整備基本構想」が提出されている。活かされるのか。

答弁 できる限り配慮した整備を考えます。

質問 歴史ある町である。鉾物は国内外に高く評価されている。このような特異分野の施設は、確固たるビジョンと計画が必要であり、人材育成も重要である。正職員の学芸員を配置する考えは。

答弁 検討します。

意見 バイパスの開通や今出川改修によりまちなかが変わる。石尊山に自由民権記念碑があり、近津神社、重謙屋敷、薬王寺、三芦城跡、石川公墓所と回遊できるまちなかにこそ、このような施設が望ましい。

Q 旧ホテル松多屋を鉱物館と 福島自由民権資料館に整備を

A 整備検討委員会で検討します



渡辺 実 議員

◆旧ホテル松多屋の
購入及び活用計画に
ついて

【質問】 旧ホテル松多屋
購入の目的と活用は。

【答弁】 歴史民俗資料館
として整備します。

今後、整備検討委
員会を設置し、検討
します。

【質問】 今後、鉱物館
整備の考えを伺う。

【答弁】 財政状況等を
見ながら、検討しま
す。

【質問】 福島自由民権
資料館建設の考えを
伺う。

【答弁】 歴史民俗資料館
で保管、展示、研究す
る機能を持たせます。

【質問】 早稲田大学名誉
教授安在邦夫先生の寄
贈図書等の状況を伺う。

【答弁】 寄贈は、保存箱
で約700ケース、書
籍等約1万5千冊です。

整理はボランティアで
石陽史学会にお願いし
ています。

【質問】 今回、鉱物館と
福島自由民権資料館の
2枚看板で整備する考



▲民俗資料館として整備される旧ホテル松多屋

えは。
【答弁】 2枚看板設置の
考えもありますが、整
備検討委員会で検討し
ます。

◆認定こども園の
建設について

【質問】 認定こども園建
設の基本方針を伺う。

【答弁】 1つ目は、全て
の子どもが等しく保育
及び幼児教育を受けら
れる保育環境の整備で
す。

2つ目は、多様な保
育ニーズに対応できる
保育施設の整備とサー
ビスの充実です。

3つ目は、地域情勢
や時代の変化に柔軟に
対応できる保育施設の
再編です。

【質問】 特別の配慮が必
要な子どもへの保育は。

【答弁】 早めの発見、対
応が基本と考えていま
す。

【質問】 保育でのジエン
ダー平等の考えを伺う。
【答弁】 乳幼児期から
ジエンダーフリーを意
識させることは大事で
す。

【質問】 保育士等の体制
充実の考えは。

【答弁】 計画的に保育士
を採用していきます。

◆まちなか再生の
今後の計画について

【質問】 今後、まちなか
再生計画策定の考えは。

【答弁】 現計画の変更が
必要と考えています。

【質問】 公費解体の件数
は。

【答弁】 181棟です。

【質問】 今後のまちなか
再生計画策定は、水害
対策具体化と一体での
考えは。

【答弁】 再生委員会で検
討します。

Q 少子化を歯止めするために新たな組織が必要である

A 少子化担当係をつくり対策を進めたい



増子美知夫 議員

◆ 今年の結婚組数33組
出生数63人と、過去
最低を記録したが

【質問】 昨年6月に設置
した「地方創生・人口
減少対策本部」の活動
状況を伺う。

【答弁】 人口減少の進行
に伴い地域の活性化を
推進するために設置し
ましたが、新型コロナウイルス
感染症の対応を優先さ
せてきたことにより、
十分な対応が図れな
かったところですよ。

【質問】 少子化のスピー
ドが速くなっており、
早急な歯止め対策が必
要であるが、少子化対

策の新たな組織の構築
を伺う。

【答弁】 「少子化担当係」
をつくり専門的に分析
して歯止め対策を進め
たいと考えています。

◆ 大規模事業が続くと
想定される本町の
財政状況は

【質問】 財政判断のひと
つである「財政健全化
判断比率算定」から財
政状況を伺う。

【答弁】 自治体の財政状
況を客観的に判断する
指標となる実質赤字比
率・連結実質赤字比率・
実質公債費比率・将来
負担比率の4つの指標
が定められ、算定され
た率については議会へ
の報告が義務付けられ
ています。本町では直
近の令和元年度決算は
いずれも実質収支が黒
字で赤字指数は発生し
ていません。

◆ 本町の資金繰り指数は

【質問】 国の基準と本町
の指数対比を伺う。

【答弁】 「実質公債費比
率」は3か年平均4.
5%で基準の25%を下
回っています。将来的
な財政を圧迫するかも
うかを示す「将来負担
比率」は24・1%で基
準の350%を大きく
下回る結果です。こう
した指標の結果から、
本町は概ね健全な財政
状況にあると考えてい
ます。

◆ 大規模事業が
続けば、償還額も
増え続けるが

【質問】 償還金の負担増
で、行政サービスの低
下が考えられるが、今
後の行政運営について
伺う。

【答弁】 今後とも財政指
標を意識し、事業間の
調整を図り、公共施設
の補修や教育、福祉施
策等の行政サービス低
下を招かないよう、財
政計画に基づいて計画
的に実施したいと考え
ています。



▲母畑浄水場:令和3年度~令和9年度
改修予定

あれからどうなった？

一般質問のその後は

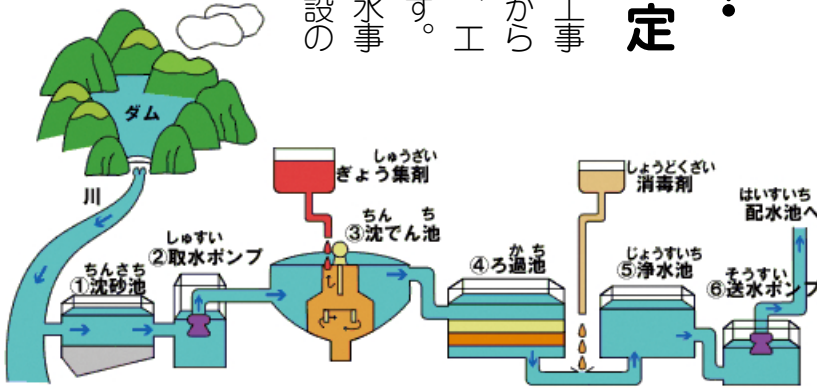
令和2年3月
定例会より

母畑浄水場 大規模改修始まる！

完成は令和9年の予定

母畑浄水場は、昭和45年に供用を開始し、施設の老朽化が進んでいます。平成28年には、更新（移転し新しく浄水場を造る）が検討され、建設費が約46億円であることから再検討されました。令和元年に、改修整備へ方針が変更され、令和3年3月に「母畑浄水場改修工事工程計画」が議

示されました。工事期間は令和3年5月から令和9年10月末まで、工事金額は約20億円です。工法は、通常の給水事業を続けながら、仮設の代替施設を利用して飲料水をつくる工程設備（こと）に7年間をかけて改修工事をしていきます。



▲水は、命の源です

町の婚活支援事業について

●結婚に関連した町の新たな取り組みは。

●ふくしま結婚・子育て応援センターは、結婚を希望する独身者の出会いの場を支援する目的で、ふくしま結婚マッチングシステム「はぴ福なび」を運営しています。

町は、「はぴ福なび」の会員登録者に対し、会員登録料1万円のうち6千円（2／3）を補助します。

※入会登録料は、2年間有効で税込み1万円。月会費・紹介料・成婚料などは、かかりません。問い合わせは、石川町役場企画商工課へ

▶ふくしま結婚・子育て応援センターHP



ふくしま結婚マッチングシステム

はぴ福なび

- ◆オンライン型の紹介システム
- ◆県内どこにいても同様のサービスをご提供します！
入会申し込み受付中

町民に開かれた・わかりやすい議会のために 石川町議会基本条例の策定に向けて 取り組んでいます

石川町議会は、昨年3月の議会定例会において、議会基本条例特別委員会を設置し協議を進めています。議会基本条例は、これまで明文化されていなかった議会や議員の役割と活動原則など、町議会に関する基本的なことを定める最も重要な決まりごとになります。今後、町民の皆さんのご意見もいただきながら来年3月の完成に向けて取り組んでいきます。

～条例のポイント～

次のような内容について盛り込むことを検討しています。

- 町民にわかりやすく開かれた議会
- 議会報告会、広報・広聴の充実
- 政策討論会(仮称)の設置
- 執行部に対する政策提案経過の説明
- 災害時の迅速な対応

石川町議会 基本条例特別委員会メンバー

委員長／渡辺 実
副委員長／根本 重泰
委員／小木 芳郎 瀬谷 寿一
増子美知夫 乾 初美
近内 雅洋



令和元年度町村議会特別表彰を受賞した
小野町議会事務調査時

議会基本条例 Q&A

Q1 そもそも議会基本条例って何？

議会基本条例は、「議会・議員の活動原則」「住民と議会の関係」「町長等の執行機関と議会の関係」「議会の運営」「議会の体制整備」など議会活動の理念、原則、制度などの基本的な事項を定める条例です。

Q2 なぜ石川町に議会基本条例が必要なの？

議会改革の考え方やこれまでの取り組みを議会基本条例として定めることにより、不変のルールとして、議会改革の動きを後退させることなく、継続させることができます。

Q3 石川町議会の議会基本条例は、現在どのように検討されているの？

現在、議会基本条例特別委員会において、これまでの議会改革の総括、事例研究、先進議会への事務調査などを行い、議論を進めています。

未来に向かつて

・ 高校生の声

学法石川高校

3年 中澤 ゆき乃

中高一貫課程の

6年間を振り返って



私はこの春から群馬大学の医学部に進学することになりました。私は周囲に医療従事者が多いということもあり、幼いころから医師を志していました。そのため、小学校の友達と離れて、中高一貫の石川義塾中学校に進学して中高6年間は勉強中心の日々を送りまし

た。常に受験を意識し続ける生活はつらく厳しいものでしたが、同じく大学進学を目指すクラスメイトに刺激を受けて受験勉強のモチベーションを保つことができました。

また、先生方や母の多方面におけるサポートのおかげで、辛い受験を乗り切れたと思います。将来は、福島県で医師とし

て県内の医療に貢献したいと考えています。小学2年生のときに東日本大震災を経験し、活力をなくした福島を目にしてから、将来は故郷の役に立ちたいと強く思うようになったからです。大学では福島を離れてしまいますが、医師として故郷に恩返しできるように勉強に励みながら、楽しく充実した生活を送りたいです。



▶中澤さん(左)と同じ中高一貫課程で、福島医科大学医学部に合格した冨塚環央さん(右)

編集後記

今年、東日本大震災から節目の10年となりましたが、原発事故からの復興は道半ば。一昨年の大水害では、街中の大半が浸水、更に新型コロナの猛威は、県内、本町でもゆっくりと感染者が広がり、一日でも早いワクチン接種が待たれている現状です。一方、春の訪れは、かつてなく早く、3月中旬に桜が開花しました。時代の変化と地球環境の変動を予感させます。私たちの地域はどんな選択をしていけば良いのでしょうか。みんなで考えていきましょう。

瀬谷 寿一

議会を
傍聴しませんか
6月定例会
「一般質問」は
6月7日(月)
の予定です。

議会インターネット中継

町議会では、本会議の映像を配信しています。町ホームページを經由してYouTubeで視聴することができますので、是非ご覧ください。ホームページへはこのQRコードからアクセスできます。



議会広報 常任委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員 長 | 瀬谷 寿一 |
| 副委員長 | 藤島 一浩 |
| 委員 | 乾 初美 |
| 委員 | 菊池 美知男 |
| 委員 | 根本 重泰 |
| 委員 | 小木 芳郎 |

